

南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
地域の安心・安全向上事業		南区役所区政企画室			
事業目的	事業内容	活動指標	R2	R3	R4
南区内各校区単位で、電動アシスト付自転車による見まわり活動を実施し、犯罪の防止及び防犯強化を推進する。	各校区単位で電動アシスト付き自転車による見まわりの実施。青色回転灯装備車では見まわりが困難な農道、緑道等を中心に子どもの登下校の時間帯に実施。(電動アシスト付き自転車:区役所からの貸与品)	各校区(地区)での犯罪の抑止効果	巡回中、放置自転車や危険事象発見とともに、登下校中の子ども達への声かけにより、地域の安全安心へとつなげた	巡回中、放置自転車や危険事象発見とともに、登下校中の子ども達への声かけにより、地域の安全安心へとつなげた	巡回中、放置自転車や危険事象発見とともに、登下校中の子ども達への声かけにより、地域の安全安心へとつなげた
		取り組んだ校区(地区)数	18校区(地区)	18校区(地区)	17校区(地区)
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 青色防犯パトロール車では困難である農道、緑道、狭隘な道であっても電動アシスト付き自転車であれば見まわりを行うことが可能。また、見まわりを行うことで、区民一人一人の防犯意識の向上につながる。	○ 電動アシスト付き自転車での見まわりは、各校区で自主的に実施していただいております。区役所は保険への加入や自転車の整備・点検などバックアップを行っている。各校区の協力を得て実施しており、地域との協働のうえに成り立っている活動である。	○ 見まわり活動を周知する共通のステッカーを自転車の前かごに備え付けているので、それぞれの校区の域を越えて活動の周知徹底を行うことができ、区内の防犯意識の強化にもつながっている。	△	農道、緑道、狭隘な道等であっても見まわりを行うことができるので、地域の実情に合わせた防犯活動が可能である。しかし、担い手不足により、効果的な運用ができていない校区も見受けられる。また、小学校と協働で実施している校区もある。	
⑤自立発展性	総合評価				
△ 電動アシスト付き自転車での見まわりは、各校区で自主的に実施していただいている。しかし一方で、事業開始から10年以上が経過し、一部校区では担い手不足により人的負担が増加している。今後の発展性は見込めない。	△ 各校区ごとに自主的に活動をしていただき、南区内の防犯強化を推進することができた。また、登下校中の子ども達に対して、心のかもった声かけを行っていただいております。一方で、事業開始から10年以上が経過し、一部校区では担い手不足による人的負担の増加や使用物品の経年劣化が生じている。校区の活動実績等を鑑み、実情に沿った対応が必要である。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し ○ <u>廃止</u>	平成23年度より実施してきた「地域の安心・安全向上事業」について、一部校区では担い手不足による人的負担の増加や使用物品が経年劣化している点等を考慮し、令和4年度末をもって本事業を廃止する。 また、令和5年度からは、同様の事業継続を行いたい旨の意向を示した地域には校区や学校園に電動アシスト付き自転車を引き渡し、引き続き活動を行っていただくなど、地域の実情に沿った対応を行う。				